

1 平成23年度の協働の取組

1 基本的な考え方

岡山県では、「自立と協働」を基調とした「新おかやま夢づくりプラン」に基づき、「快適生活県おかやま」の実現に向け、「教育と人づくりの岡山」、「安全・安心の岡山」、「産業と交流の岡山」の3つの創造を基本戦略として豊かで活力ある地域づくりに取り組んでいます。

備中県民局においても協働の取組が6年を経過する中、協働の手法も次第に定着化し、県民局管内のNPO等の育成も進んできた一方で、協働の取組を始めて3年目をピークに協働事業の件数は減少に転じており、また、事業内容も継続事業を中心に固定化されつつあったことから、NPO等外部からの発想やエネルギーを活かす仕組みが求められていました。

こうした状況を踏まえ、平成22年度より各部所が抱える諸課題を解決する手段として積極的に「協働」という手法を活用するため、「備中県民局協働事業提案募集制度」を導入し、新たな手法による協働の取組を図ってきました。

また、これまでの現状と課題を踏まえ、備中県民局の協働のあり方を客観的、専門的に評価するため、学識経験者やNPO関係者により構成される「岡山県備中県民局協働事業審査委員会」を設置し、協働事業全般に亘り、意見、助言を求める体制を整備したところです。

更に、国では「新しい公共」という概念のもと、NPO等に対する地方公共団体を通じた新たな「協働」の推進の取組が始まっており、また、県独自の施策としても、地域の課題やニーズを踏まえ、市町村や商工団体、農業団体等と連携しながら地域産業の振興や地域社会の連帯感の強化などに向けた事業を実施するとして「中山間地域等活力創出支援事業」の中に「地域活力創出事業」を今年度より創設したところです。

こうした中、備中県民局では、「新おかやま夢づくりプラン」の3つの基本戦略と備中地域の自然、産業、文化、歴史等やこれまでの取組を踏まえ、今年度は、次に掲げる6つの項目を重点テーマとして位置づけ、「県民局内のあらゆる部所において協働について考え、協働の可能性を探りながら具体的な協働事業を構築する」ことを基本に協働を推進します。